

魚・エビ類モニタリング かいぼり後の生息状況



佐藤方博

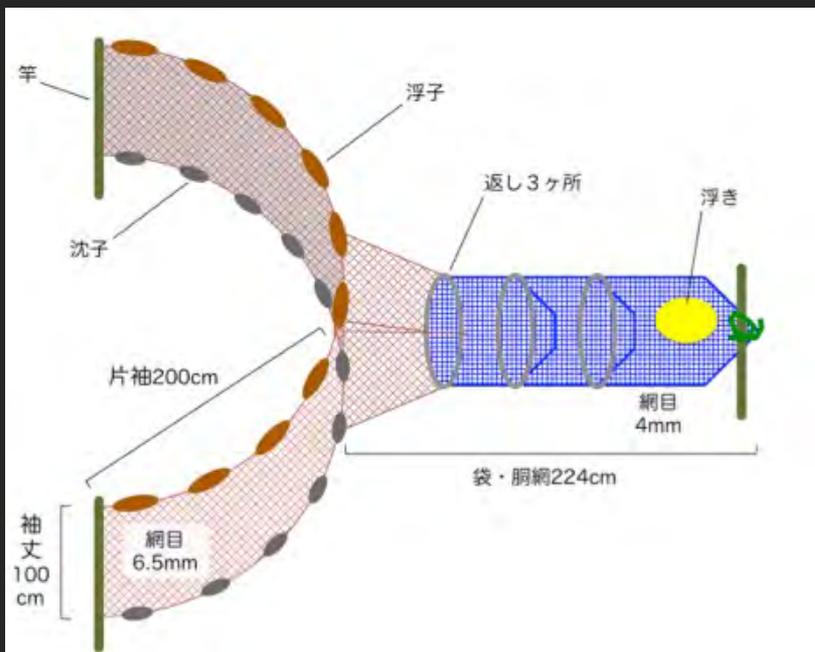
認定NPO法人 生態工房

調査方法

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

ザリガニBOX

張網



遮光カゴ



舟遊池での確認種

在来種

外来種



データの示し方

採れた生きものの数を **CPUE** で表す

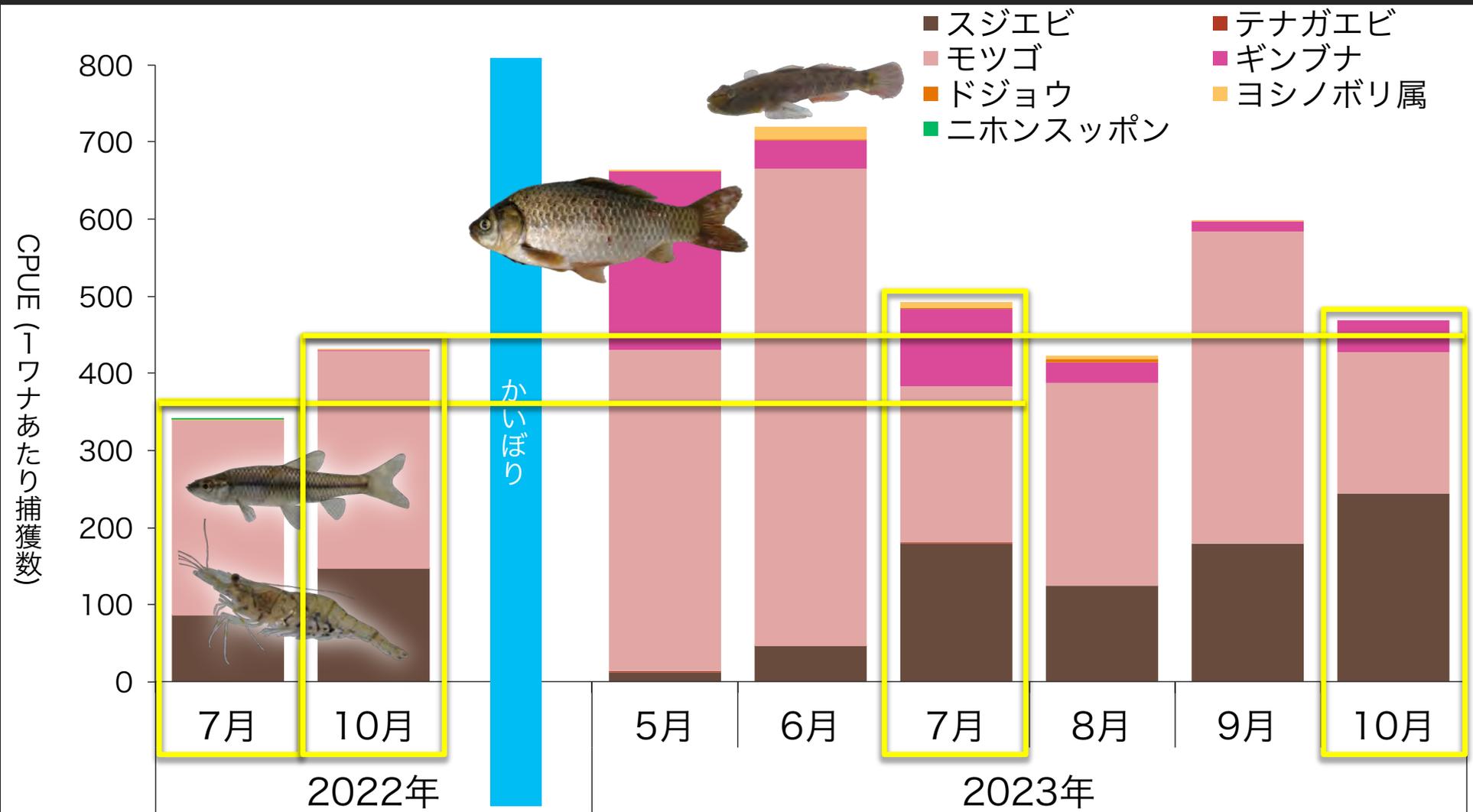
Catch Per Unit Effort

…ワナ1個あたりの採捕数

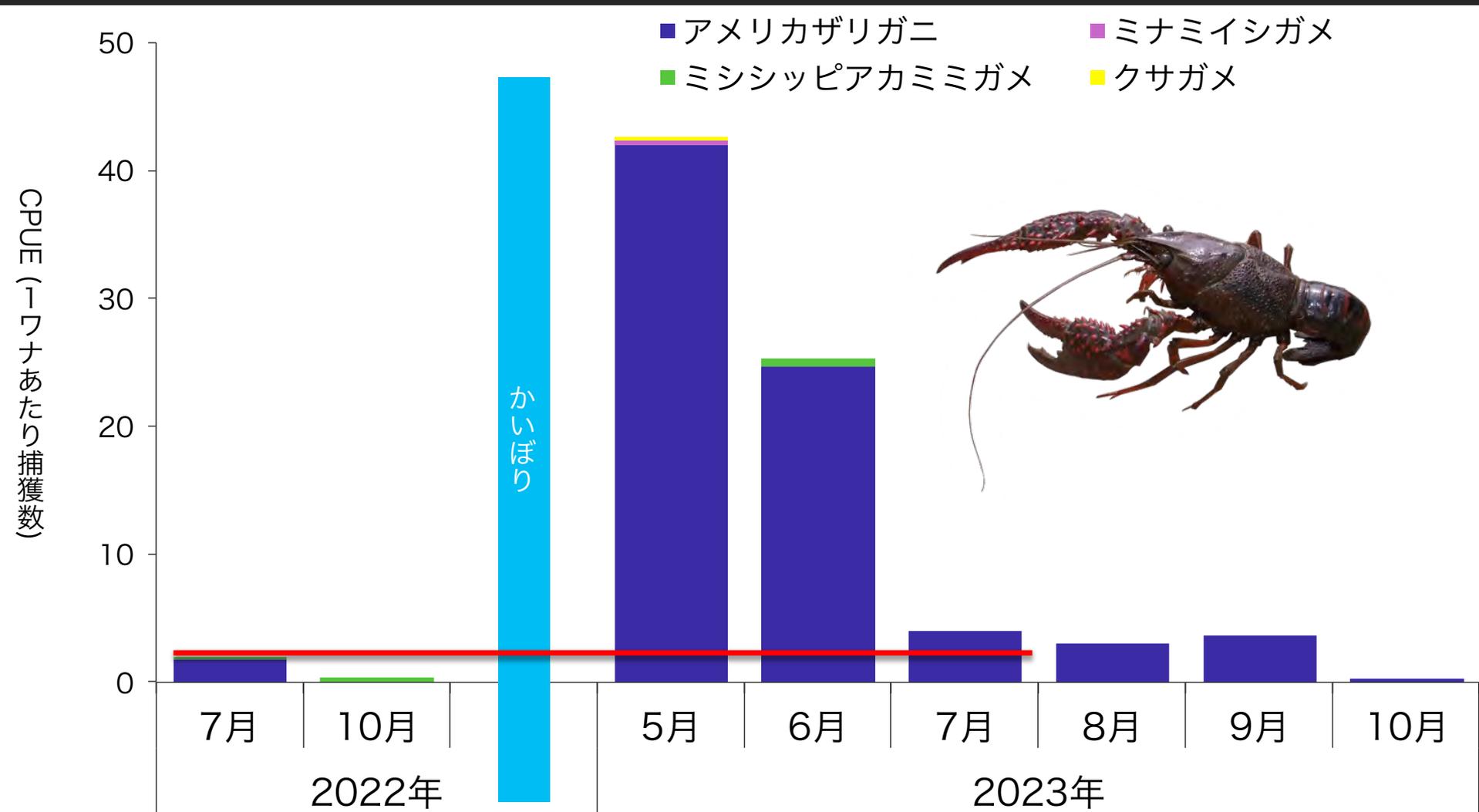
○月の張網でモツゴが300匹採れた！

モツゴ300匹 ÷ 張網3ヶ統 = CPUE 100

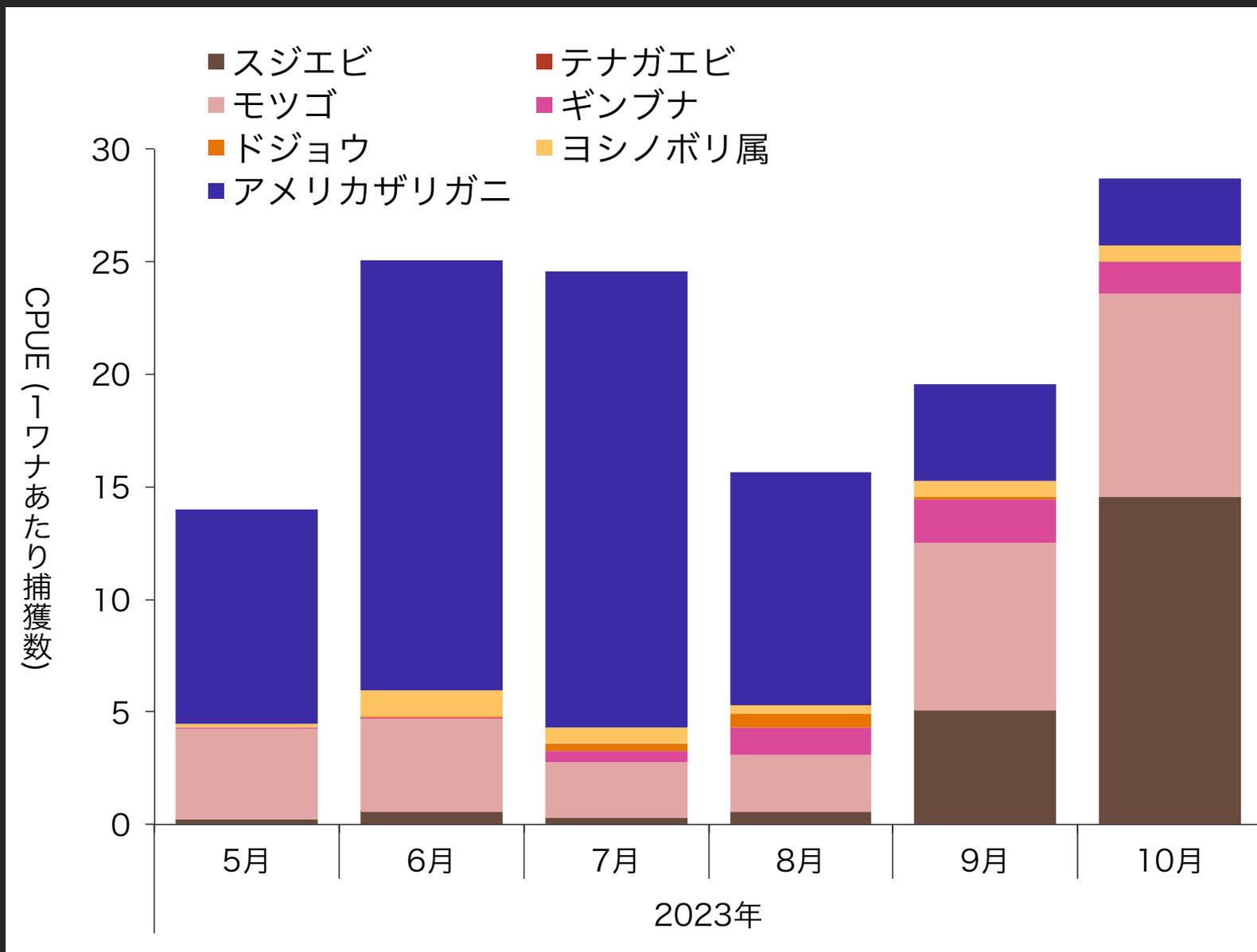
在来種のCPUEの推移（張網）



外来種のCPUEの推移（張網）



CPUEの月別変化（ザリガニBOX）



まとめ

かいぼり後の特徴

- ・ スジエビが増加
- ・ 以前は少なかったギンフナ等が増加
- 種構成が豊かになった
- ・ アメリカザリガニがやや増加
- ・ 各種が繁殖して増加したのは、攪乱直後の効果もある
- ・ 今後は種間関係による増減もある
- モニタリングを続けながら、池の生態系をより良い状態にしていく管理を行う

